

平成 25 年 11 月 5 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 山田佳臣 様

南信州広域連合
広域連合長 牧野光朗
南信州広域連合議会
議長 林 幸次

リニア中央新幹線環境影響評価準備書に対する意見

日頃、JR 飯田線の運行管理を通じ、地域住民の利便性の確保と地域外交流の促進にご理解とご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件に関しまして、下記のとおり意見を申し上げます。

リニア中央新幹線の建設事業に当たっては、これら事項を充分勘案され、更に必要な調査等を徹底して地域の環境や住民生活等に対する負荷を極小化する措置に努められると共に、事業を円滑に推進し、一日も早い完成を望みます。

記

1. 事業推進の基本的な姿勢について

リニア中央新幹線の建設は、貴社のみならず我が国の将来にも大きな影響を及ぼす巨大プロジェクトであると共に、事業の根拠とされている全国新幹線鉄道整備法(昭和 45 年 5 月 18 日法律第 71 号)第 1 条において「地域の振興に資する」ことが目的の一つに謳われていることに鑑み、「地域目線」での事業推進に留意してください。

2. 水資源の保全について

飯田下伊那地域(以下、「当地域」と言います)は豊かで良質な水資源に恵まれており、地域住民は様々な形で日常生活や各種産業活動に利活用していますが、当地域のリニア中央新幹線(以下、「リニア線」と言います)は殆どがトンネルとなるため、依然として水資源の枯渇・減水・汚濁等の懸念があります。リニア線山梨実験線においても水資源には相当な影響が生じているとの情報もあり、個々の水源等に対する工事着手前や工事後の調査を徹底するなど、一層の措置をお願いします。トンネルからの湧出水や工事に伴う処理水等の河川への放流等に際しては、災害防止と共に水資源の質を確保する観点から、放流地点や方法等についても配慮をお願いします。工事期間中を含め、万一支障が生じた場合は、住民生活や産業活動に支障を生じないよう、貴社の責任において万全の措置をお願いします。

また、影響予測範囲地域外についても関係自治体等と協議の上で十分な調査をされるよう要望します。

3. 生活環境の安心・安全の確保について

リニア線の建設工事により当地域内を一日数百台から最大 1,500 台を超える車両が通行する事になります。しかし、高齢化が進む山間の村々にあっては、雄大な自然とこれに抱かれた平穏・静謐な住環境が最大の地域資源であることから、これらが長期間に亘って侵害されることは地域コミュニティの存亡に関わる重大な事態です。こうした点に鑑み、工事による発生土の運搬方法については見直しを含む抜本的な対策を講じてください。

当地域の道路事情は、国・県のご尽力を始め、各自治体の施策によって日々改善されていますが、地形的制約等もあって未改良な箇所も多く、また大型車両の多量な通行を想定していない箇所もあります。こうしたことから、工事車両の運行を始め、具体的な工事計画立案に際しては、予め地元自治体や関係団体と十分協議し、地域住民の日常生活や観光を始めとする経済活動に及ぼす影響を極小化すると共に、交通に支障のある箇所については、リニア線建設工事着手前に貴社の責任において主体的に取り組み、速やかに改善してください。また、子供やお年寄りを中心に地域の安心・安全を確保するため、車両運行者の安全教育や工事現場の保守を徹底するなどの措置をお願いします。

リニア車両の運行に伴う騒音や振動については、現時点では判然としない部分もありますが、更に研究開発を進め、開業までにより一層の改善措置を講じるようお願いいたします。

また、高架橋等による日照障害や地域コミュニティ分断等の懸念についても住民目線に立ったきめ細かい対応を

お願いします。

4. 自然環境の保全について

当地域の特徴であり大切な財産の一つは豊かな自然環境です。リニア線建設工事やその後の運行によって澄んだ空気や豊かな景観等が損なわれることのないようにしてください。そのためにも工機用機器材の環境性能の保持には特段のご配慮をお願いします。また、希少な動植物も多く存在していることから、これらを損なうことのないよう留意し、より一層の措置と共に、必要に応じて更に詳細な調査を実施してください。

5. 文化的環境の保全について

リニア線の路線や駅位置の設定に際して飯田市座光寺地区にある恒川遺跡に配慮いただいたことに謝意を表します。一方、リニア線の駅や本線予定区域には他にも種々の遺跡等の文化的資産が存在する可能性があることから、それらの調査・保存について万全の措置をお願いします。

また、各種施設の用地設定や工事等に際し、地域の歴史的・文化的環境や地域住民の活動に影響を及ぼすことのないよう特段の配慮をお願いします。

6. トンネル排出土の処理について

リニア線建設に伴って長野県内で約950万 m^3 という膨大な排出土が生じることから、当広域連合といたしましても関係自治体と連携してその処理に協力する所存です。

処理に際しては、排出土の仮置き場や最終処理地が周辺地域の住民生活や自然環境等に影響を及ぼさないように良好な土質の保持や防災対策、景観対策等を徹底してください。また、処理を容易にするため、用途に応じた土質の分類等にもご配慮ください。

排出土の運搬に際しては、本意見書他項目に記した意見等にもご配慮ください。

7. 用地買収について

用地買収に際しては、先祖伝来の土地・家屋を手放したり、慣れ親しんだ生活の基盤を移転せざるを得ない住民の心情等を十分に付度し、地元自治体とも連携するなかで誠意と責任を持って当たるようにお願いします。

8. 送電線等の整備について

リニア線の建設及び運行に必要な電力を賄うために敷設される送電線や鉄塔について、地域住民の諸活動や自然環境、景観等を阻害することのないよう、貴社におかれても電力会社に働きかけ、リニア線の建設及び運行が全体として地域に及ぼす負荷の極小化に尽力してください。

9. リニア線新駅及びアクセス方法の継続的な検討について

飯田市域に建設予定のリニア線新駅については、長野県の南の玄関口や当地域の景観に相応しい外観と共に駅利用者の利便性に十分配慮した機能を有するものとなるよう、継続して協議をお願いします。またリニア線新駅とJR飯田線とのアクセス確保についても、継続して研究・協議をお願いします。

10. 住民理解の促進について

リニア線の建設に対し、地域住民は期待と共に、前記2から8の項目を中心に、様々な不安も持っています。工事実施に際しては、住民の目線に立った真摯で丁寧な姿勢で地域住民の理解と協力を得ていただくようにお願いします。

また、そのためにも積極的な情報の公開をお願いします。

11. 関係自治体との信頼・協力関係の醸成と強化について

リニア線建設という巨大プロジェクトを安全且つ円滑に推進するためには、貴社と当地域との信頼・協力関係の構築が不可欠です。また、当地域にはリニア線新駅を始め変電所や保守基地等の重要施設、更には万一の事態に備えた非常口が複数箇所に設けられることから、その関係は将来に亘って保持されるべきものでもあります。こうしたことから、今後、具体的な工事計画立案等の当初段階から関係自治体や当広域連合との信頼・協力関係の醸成と強化に配慮してください。